湖月抄

うぶくさ

石瀧文庫

落雲　細　巻名は奇とゝろく号也　河へ日さし雲にさ
ゝびく落雲は地名也神ゝ多やまゝる　光親卿雲乃
落くるゝ山ゝ多ゝうみひろさ　細　ゝ多ゝ海を
ゝとりとゝふゝつゝゝもやゝ　嘉　細　松風と同年也源氏
三十歳の春ゝ多ゝ　次第　世一の秋ゝ多ゝの事あり

ゝ多ゝ　細　ゝ多ゝ河づゝゝの事ゝ多ゝ　細　大井里ゝ多ゝ
仲川づゝゝ川のゝゝ　孟河内本桂の住居とゝ多
不用之　光ゝ大井の里ゝ多ゝ
うゝの花ゝ　細　ゝ多ゝの
ゝ多ゝの日里　冬　離き
ゝ多ゝ　源　紅ゝみ
づゝゝ　細　始撰十ゝ
ゝ多ゝ　ゝ多ゝ
ゝ多ゝ　ゝ多ゝ
ゝ多ゝ　ゝ多

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

大臣年ごのひとをもつて其后ともすりあしんのはゝをあくばの源ハ位よつきまゆべうこと
ゝくいるぎらみづさ 侍つの中をうくれどゝゆくんいりよおゝどんゝ
るをさうひうひうをゝ
の所 おけ 侍いゝうゝ
ゝゝ・新王大臣年ごのひ
もめとをゝゝをちゝう
人ゝ・其ゝすよ新王ゝを
大臣ゝも服芳ゝゝ・も示
よ付て中りの和と云所
仰ひゝうひうと云ハ
面分と云ゝゝや・ひゝゝろ
いゝゝゝひ新王の女れ服ゝそ
も大臣の服ゝそも・面分ゝ
巻ゝゝぬとり服と以
ゝゝゝ人もゝひゝもも
のゝゝゝ法おゝゝひ
うゝとゝをひうゝゝ
ゝ巻ゝとゝゝゝとあゝゝ
紙ゝもゝ後ゝゝゝ雲
ゝ不扶ゝうゝや
えひうゝゝぬのゝり
ゝ巻服ゝひゝゝやう
よゝゝゝうぬりのゝゝ
ゝゝこれゝやんゝゝゝ

ゝゝ・新王大臣年ごのひ
もめとをゝゝをちゝう
人ゝ・其ゝすよ新王ゝを
大臣ゝも服芳ゝゝ・も示
よ付て中りの和と云所
仰ひゝうひうと云ハ
面分と云ゝゝや・ひゝゝろ
いゝゝゝひ新王の女れ服ゝそ
も大臣の服ゝそも・面分ゝ
巻ゝゝぬとり服と以
ゝゝゝ人もゝひゝもも
のゝゝゝ法おゝゝひ
うゝとゝをひうゝゝ
ゝ巻ゝとゝゝゝとあゝゝ
紙ゝもゝ後ゝゝゝ雲
ゝ不扶ゝうゝや
えひうゝゝぬのゝり
ゝ巻服ゝひゝゝやう
よゝゝゝうぬりのゝゝ
ゝゝこれゝやんゝゝゝ

あゝゝゝみゝゝゝ

孟姉妹の二条院へまゐり
給ふ日、作り物語
とをよ日し
いとゞらうたくなれこと
さうとうえ
若君の二条院へうつり
給ふ日、めのとまえ別
へくれいたくこうなる
さのそうへく
さうへきこゝやかしこぬ
細殿をとりしも編
みくこもわりつんと
孟仲の編と結て殿の番
へ来りてうて殿
みえのありうさと来
よわいたがうう結て
うんとく
うらうこゝをゆうるい
今くわんれ作りともつ
わよい殿も作の来へ
じくまふへくれいみ来す
のうくえぬく作しと

うをいとゞ作の
て志のびやう
うてうを結
いとあよゆ
できこと
きうれるん
つるとも打
つうよいとゞ
へいうう
をうへ
めそとびの
しうゆゞく

作者をうこうの目をさ
うべきさこゝみどこのうひさ
作者のく
なるうらゆくうせんこいるを
作者のく
ゆれど志のくうよう
作者のく
作者のく
作者のく

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

くしあひうつて新とをくべまづ〜くぶ上いつくこぶくき法とうぶきしと云〜を
ぶぐさめて後まつくあるぶら伝風の孝をのあさき根ぶ〜ゆ〜やいうくと云祖をうけこ
ぶとくとくまはあぶ〜〜ぶら新ぶぐ〜ぶぶぶ〜ぶぶ〜ぶ〜ぶ〜

上の段々ばかりのさ
ぶらうんぬとぶやう
のすくなきとおなじで
あてまきさうのく

ゆくゑ知ぬさしまよづりの
ごとくなれ　ものぐるはし
細別は侍従もそこなり
不動の郷　魔王人　仏ひと文
れたろ〜ひるどのろ〜く
しさもいつものするれぐを
さうのとうしてくるあるこ
とをかなさ
れたろ〜ひ　姫君のゆさう
ゆもしませい稚君の御
殿それは無しとなりし
さかりろへ〜
まうろまるまらろとでも
細別の姫君よつさく
まうしろ女たのそ〜ん〜

ゆくゑ　盃　業のそろ
ぬいろこんやもく
しさんぶざん海るれいらんよいとくつるむり
びろ〜く　盃業のそろ　まれいつろうろうれてさめえ
ろうし笑ろ〜ろ〜ろ〜ろるるいぐるあつろ
ひりてあそびゆく　結ひてめれとをのろ
ろ〜ろ〜ろ〜

[illegible]

[illegible]

[illegible]

花園里方の別荘
せこ様はかゝる所司代と
のりをく

細殿の女房の直衣なり
藤芳なりとさらに〳〵
ハゝうゑ下の孫人の方にあ
かるくなりくべし
女房〳〵
孟侍の裳朱色なりは
〳〵〳〵それハ笠のなる
〳〵

孟 外人簾の内
也一よハ戸なり 細姫君の
〳〵ひ給さまの
〳〵ひ給さまの
細孫人
の方〳〵 催馬楽 河
北女曽乃不祢止い女之
赤津多平止万知津久紀
留見天可戸利已辛也曽
与也安春可干利已辛也
曽与也二度已止佐已曽安

〳〵〳〵 孟 外人簾の内
也一よハ戸なり 細姫君の
〳〵ひ給さまの
〳〵ひ給さまの
〳〵〳〵
〳〵〳〵
〳〵〳〵

春止毛切波女乎千可太伊津万尼毛世那波安春毛尼祢己之也曽於与尼安春毛尼祢己之也曽
也 催る示様人之也 仲 様人八花人とゑづかいとゝ

なりそゝやハ歌の上

舟ともゆる 細様人よりそ紅

くれなゐ元和之上の句を

うけて作り源氏とぬ上

のくれぬんと様人の奇

そ歌ゝ様人の奇

とをうゑ(よなりてら

仲ゝあまつゝもろ人の

なくいとそあすとゝ

のゝ

ゆてゝく 細さゝうと

ハ早くゝゝんとゝ明ゝ

ぬ上ハ中ゝくゝとゝ

あすゆりうんとゝ花多

元あとハ月ゝうゝうえとゝ

つゝよゝひとゝすゝん

細紫上のゝひやりなり

血ぬ上のゝを紫のゝ

ゝりとゝやゝゝる

ゝ

(つゝうん せるみゝとゝ

ゝれゝいとゝ白ひやうよゆくあゝて

ゆゝさゝてゝあすもゝひうんゆくをゝ

ゝうゝゝんゝとゝくゝとゝ細雅ゝ

でゝれゝりうゝさゝまゝひゝゝ紫ゝ

とゝゝゝゝいとゝとゝうゝゝのゝめゝゝさゝゝ

ゝよゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

ひとゝすゝんと紫ゝゝゝゝゝゝ

ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

ぞうりとはりいをうらうべさをとりけりこれをうらうべさをとりけりこれをうらうべさをとりけりこれ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

の表を治し附のうえ
仰さうさの書まわし
ゆる

みなとの流れ〜ながれ
冷泉院は今十五年
ありまする

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

爵号の限りあるべき中
宮・女御・御息所・女御・更衣・御息所・女房・
女房・女官・女房・女官・女房・女官・女房・女官・
女房・女官・女房・女官・女房・女官・女房・女官・
女房・女官・女房・女官・女房・女官・女房・女官

出いのりの師として　孟　蒼雲は母后なり仏教の出家として蒼雲みもれ信仰
古文みもとい蒼雲の出家の師母后人先帝后
とりこれば　仏教の出家
世よりこころひろ
仏教の出家
七十ばかりして今い法のをこと
ひとりんとこりしうがこころのいこと
細蒼雲の出家
よりてつるよ　仏教の出家
仏教の出家
仏教の出家

[illegible]

法師ハ[illegible]
細一注 寛筆供奉の事
[illegible]
[illegible]
[illegible]

上の行の事も伝れ
しとぞ
はるばるぬよ
冷泉帝位をそ行をせ
ず冷泉院位をそ中の行
ア行ばぐ
そのうへ面つゝ伝をて
死高代の院門をまこと
伝氏の院よりてもまま
伝るゆゝ

伝教をゝみ奏し
物さて　遊び　鱗　と伝恐怖して
れ前をまちうそん
とぞ

ていいのうどとうけ給つり伝しと中
ぞとそうめてゐん文うそよとく
そんゆりとれてばらるるよつこゆん
しまゝまで、つうまつることぞと伝
しそのうへ海つりし伝をてらて
くそうするを、うそうめてそよわ　敷　こ
うめづゝうまゝめてゆそろうとれし
うとぞ海ぐよれらろうぐれうと
盃　ぞうはいつくをうけまづ伝教をそこそ
ぐうはいつくをうけまづ伝教をそこそ
うしつるとゐんるくゆがめをゆやと
ぐうつうゆりひてやとうしこゆり
ぐとめとぐめてゐるよちゝで

冷泉院へ
細勅定ゝうく奏しうゝ

えばうとをうて
物ばかるはちるんゆめ
人と王上のゆをれ物
をゆ伝
ちうよちうゐん
物ろうゝの巻ゐゆるに
仍て位天の悪後ゆをう
ちゝゝ
えぐんちゝうに
細例ようひうる天変
のゐ花よみゝうり
盃ゆ人の伝ゆ天徒変よ
を思いようぐる月ゆ
しの光ゝ雲れてを
まひわゝゝをゐ
いゝゝゐ　盃　幼稚ゆ
てゆを行ゐをゆゆ
ろとゐり

ゆぐうゐゆ世ゆでのゝ伝ゆ
べうるゝと今ゆぐゐのびこゐれ
ゐうるをゐんゐうてうゐゐゐゆ
ふゐうゝとゆひゆる文ひゝとゐうてゐう
しつゐるゆぐひやゐんとのゝ海つを
伝教伝
ゐれるゆゐゝと五命婦ゝとうゐの
のゐゝどのゝゐの気文ゐゐる伝ゝぐゐる
ゐうゐんいゝゆをゐうゐ伝てんゐん
ゐゐゐゐゐゝ世ゆゐびゐるゐぬい
伝植ゆ
びゆゐゐ伝いゝゐるゝものゐゐゐめを
ゆゝうゐつゐゝを伝つれゆゝゝゆよ
ゐひゐゐゐかゐゐゆゆゐるゝとゐ

ゆやのけせう
後の世の者こゝろ之王の
例をかゝせ給ふ
云私ともの歌の物
てとゞめ給へ

人をもぐさとなれよいとうてどもとり
めもそなりぬ。ゆやのけせう
なりぬ。ゆやのつくりそ伝なれ。伊のつくりと云
うめもぬ。ゆやそうゝうよりそうゝ
しるあるこゝろ。なくくこゝろ
あけそめれぶまでぬ。こゝいゆめやう
よいつゝこゝろをうゝめて。なくに
笑てこゝぶれさ物語故院のけこゝろ
しるめこゝろ。ゆくゝのくこゝろ
つゝこゝまつと表ようゝけるりきり
こゝゝゝ

古文の学問
細古文とい落葉也佐
とまり給りんこくの
給へ 孟落葉ハ
ませべくそ佐ゆとま
しまんこく
ひとりのみて
細聖代にも怪異あり
漢家帝羽不可
勝計也 文上を
てアまふ
湯負洪水大旱之責
高宗成王有雊雉迅風
之変雉有小異不失天
徳 後漢皇后記上迅風八月
公旦の河の風之雊雉八家廣
の家よりうへのうへ
物怪とより

あんりのこころがく例をぬらぬ
のこころんもとめのもとりのどう
ぬよりがあてしくるん古
文の学問ひとりしてそせろ
もとひくぐるとれいまはんやもとさ
悔もとくこ海ゆ
ひ学給いとあるまはれこしりし世
のもづうしぬこいうるべまつりづこ
のうをゆあるみとこりゆ給べさう
しこ世みもやんよりぬこ式を給
りうひとうのこうどのせみもとこう海
のぶれいでらこしりうみを給れ

我くみくもこうん給
河 我朝延喜聖代菅家
左迁事以下歌
ちてこしつう
細 後仕大臣式アロ文乃
驚し給こくく何もと
雪限りある花ども
こうりまひふと
細ろうのりハ女ども
のまひつきうよあ
てこ也茅よ花なり
るくりもろき作よ
こひ 細今を上も保も
同素服みくま
ませ給ぬまで事
ども

このことをうけめて
佐物のこし事をこの
して給みをこうが
ありもなり

我くみくもこうん給
河 我朝延喜聖代菅家
左迁事以下歌
ちてこしつう
細 後仕大臣式アロ文乃
驚し給こくく何もと
雪限りある花ども
こうりまひふと
細ろうのりハ女ども
のまひつきうよあ
てこ也茅よ花なり
るくりもろき作よ
こひ 細今を上も保も
同素服みくま
ませ給ぬまで事
ども

このことをうけめて
佐物のこし事をこの
して給みをこうが
ありもなり

[illegible]

細平生のと仏を盤勉
よ源よむ[illegible]ひかつま
[illegible]をあやしくゆりひ
[illegible]

今[illegible]に　細　落雲を上
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

氏なれども実父呂氏なれば呂奏とうじ晋八司馬氏なれども実父の姓なれば牛晋と
記とり畧記
ひのもとよ 細 吾国よいかなる人なりとしるべし 花名陽成院の御母二条后業平中将の后なりしかば
御子なれば細殿 元 陽成院の御母二条后業平中将の后なりしかば御子なれば細殿
給よりとしるべしいかなる人 元 陽成院の帝八歳にして陽成院の帝八歳にして位
文徳のいかなる人
一世の源氏又納言大臣よりなりて 細 元例 河海 みくらの品を源を賜ふ人なるべ
しとなり 光 是を天子の位よりゆづりなんと申給ふ 河 一世源氏任官已後即
位例 光仁天皇 元天納言 桓武天皇 元従五位上大学中務卿 光孝天皇 元一品式部卿 宇多天皇
貞観十二賜源氏姓 任侍従 式部卿是忠親王 元慶八年三賜源姓 寛平三年二十九立親王 太宰帥是
仁和三為親王即帝位 同親王例
貞親王 賜源姓任左中将後為親王中務卿兼明親王 貞元三四為親王元光大臣正一位源氏
上野太守盛明親王 康保四七為親王元源氏大蔵卿正四位下
孟氏位
つきまつることあるべきの例ありなりんと
よりてもゆるしなりとてさるやゆ
づりなりとてもゆるしなりとてさるやゆ
ゆるしなりとてもゆるしなりとてさるやゆ
ゆるしなりとてもゆるしなりとてさるやゆ
ゆるし

内々ねんごろにて
細長二位の事わたくしなれ
牛車ゆるされぬ
孟牛車ハ黄牛ニ付門ま
で牛をうけてとまる輦車
ハ檳榔中へ入ル扇ハ光本
輦車とりて後ハ輦車ヒトリ
ウヒヲルニトヨムニハ糟牛車ヲ
也寛弘八年八月左大臣為
尊朝臣牛車出入待賢
門上東門ニ
なるをみるにつけてもなげき
孟保を親王よりもなげき
をなげかせども天下
の政をなげき人のこと
をこそハあるべからんよ
左右よりなりてせ
ばなりもゆるさぬ源氏
いかゞやとおぼしもの
狂ぬるかのこゝろ
門のこゝろ
源氏の
細長の御所
細長トノの
細長上の兄
師尚
冷泉
孟
冷の心
なりぬ
なるをいかゞ
細源のこゝろ
よるべくこゝろ
なるを
為尊
なるのけしき
なり
なるこゝろ
なるこゝろ
なるこゝろ

[illegible]

一うるはしびらびらく

細 藤雲のくゐはくた

[illegible]

秋の夫人 細 秋は中夫

[illegible]

といつり 源のうつろ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

細とひとつはうきさうしうら西門・藤壺の所ずまひ　河晴　盃日盃　或伝云狭衣

ふとうけのふみ　ゆうさく　仲絶間

ふぐうこのひきべし　お母乳あり　ふうはのとえんぐ　内ふうよ　ゆとうのうこ

つづくるふとく

りんぐの後り　細　花園里也

里人　玉鬼　よろろう　語

ふうこに　和て　えうこう

養日　他也　花園里　玉鬼

ひきべしうこうこうつづくるひみうり　ひ

あうるうきうこうこ　ふ

花園里也

えんぐの後日　物もろ人　まそこうこうとうく

てんぐうこ　ぐうこうはがしうこうり作りしもを

うこうはせてくうこうこのふうこ　ぐうこうはひるりまて作り　ふうこ人のみく

ぐうこうはせてくうこうこ　ぐうこうはひるりまて作り　ふうこ人のみく

盃　花園　も　ほも　あぐひうこ　あうこ

うこうぬ　ぐ　我も人をこの人　ゆうこめて

ほうこ　ほうこ

ぐうこうはやうるれぐうこうこうこ　ぐ

やけのうこうこうこうこうこうこうこうこ

ぐうこうこうこうこうこうこうこうこ

ぐうこうこうこうこうこうこうこうこ

ぐ

まと合わり。千公高門の
る河海こうて。
河千公八東海/合其子千定
國家八昇倩家の門乃被
こうと文をたまつてろひを
ヨ千公がいく江門とたく
大こ駟馬高蓋入行よ
ろバ。ゐれ獄の月と
してこをそうろ法法
多きゐゆへよ祇子孫家
とおろもぐ。ーと云々。
くこて宝國天后こなり
ちよ永八ハ史大夫よ四よ
ろり。ハ史大夫八四ろ 墨襲
本佐よ家の門と同門
と出里の門の子八父子
と文老と出里の長く
ろくくーさくこの 孟春よ
ーきくこの子く 孟春よ
門ひろてとの孫よ孫
無君きぐきよハぐう
ちをくてこの孫ろり
りろこよハ去の花ひ
きこよおみーと

ほの堯去の後みもく
ひく。作くぐ。ほの堯去の後みもく
させのへるぐくくくまへ。孟秋時の花春
ゆくくくなりくこ海よ。くくこーてひと
くぐくくもあるけそひとなつて
げあ。ほのそく入てく。ふやくくくくくまでか
ほの匂く
つを。くくくくしくくくこのろそそハくくりのよ
細六業流行ろくきくんのあくく
てくのくくくくゆきくくくく河くくの花りみぐ。
ふのるぐくくひくくくくく

方よりとりもせずぐこれり
とれいくとうんすめ
三光院殿出統山路小懸者と
称しとりうきをしとうきをしぐ
きをかしとうくしうう
うてのつぐやりひ
細家男つうきをんかどこれ
いかに別ありうぐさきくく
仲保氏さんえとき作ねね
とのをんが奇夫つうてて
しくえの仮芳の人ぐに
きぐめりひうきれぐま
してくくうよりかうら
中めくいやりしき家の栄
よい秋の表をしのをを
をうけくぐみてくうを通
わやしとううし　卑山相
縁へいつ通とも者ぐこれ
ことうう と毋御鳥奇夢
よしせその結る表よ
西句しいつそも者
うくどいあるねぐも秋
のタいわやしうう
うあううくく結み

げようえて出いうくうて結いぐくん
をうてあれぐまて（秋好の縁）いぐをひくくを伯
うんげよいつくるるるみうは。わやしと
くくしゆゆぐくそぐくるのうくて結よ
し家のしすぐやもそくまんられやぐを
出くきぐけるげまのきひうれいと（保之）
うくしげるのるるえるのび結くで
（保之）
くくをくは表とうくを人をれど秋芳
よきりう秋のゆうぐきのひくくる地り（秋好の芳の縁）
くを作うくくくくしうと学く結ふいつくのれ（秋芳のうくとまる）
悪よくいくくいあくんううえずくゆりくう
りりあきうう（保の）細（秋好）このつぐくよえくあうぐ

細家氏と示のくれ結くるり秋やうんくせのりゆくぐ事やうを言とく
云なりせうう結勝也
えもさいかさいくいはしぐく奇のやりて公縁と申くいく秋と表くくひつよさていれ
くうもうくうくいあくれとうくうんくくぐくのくいはの表をいくくうあくくうあ
ぐ。四月いくく細いくぐはくとし結くくきれんの結うあくく

くくくゆくくくくくくもあくぐくいまと
くくひぐくくくも（保の）結つぐくれだ（秋芳の縁）いくくくて
くくゆあいくくくくくくもくくくくよわぐれんと（保の）
くくくくくくく

[illegible]

[illegible]

[illegible]

秋ぬい源の心分なれいを世ゝ
抱しゝてゝやもゝげよゝ人しゝ
うよゝてゝのゝちゝひゝてゝ 作 秋ぬい源氏のれんとけ給とやもゝく歩せど源い
徒図よゝやめゝてゝりゝくゝ給ゝ
ゝの去乃あけ名の
細巻上の去とゝあゝれゝ
ゝてゝ弁四
ゝゝゝけゝゝゝ
びゝゝりゝせゝやゝゝゝゝゝゆ
ゝゝやけゝゝゝゝゝのゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ 孟 源氏の意
ゝゝゝゝゝ

ゝゝれゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]